

学生の修学、進路選択及び心身の健康等に関する支援

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

本学の学修支援体制を支えるものとして、「チューター教員」「アカデミックアドバイザー教員」「学生支援センター 学修支援部門」が挙げられる。

チューター教員は、学修や学生生活に関する全ての相談に対応する教員である。

アカデミックアドバイザー教員は、教務部長及び学生部長がその役割を担っており、主に、単位修得状況から生じる学修や生活面に関する支援や、チューター教員から特別な指導や支援の依頼がなされた学生への支援等を行っている。

留年となった学生に対しては保護者を交えた面談を行い、安易に退学に繋がらないよう、彼らの今後の学修や学生生活に対する不安を聴取し、個々に応じたアドバイスを行っている。休学する学生に対しては、復学後スムーズに大学生活に戻れるよう、休学中も可能な限り定期的に大学へ出向きチューター教員と話をすること、規則正しい生活リズムを崩さないこと、大学図書館や学生ラウンジを利用し、学習する時間を作ることなど、休学中に大学から完全に離れてしまうことがないよう助言を行っている。

「学生支援センター」の学修支援部門は、学生の主体的・能動的学修姿勢を育成、学年横断型グループワーク学修会の確立を支援するなど、学修意欲及び学修理解の向上、学修コミュニティ形成の醸成を目指す部門として活動しており、定期的な学修会、リメディアル教育、面談等を実施している。特に、留年生や成績不振者、授業態度等が気になりな学生の個別の状況を確認のうえ、学生に合わせた支援を提案し、チューター教員とも連携しながら支援が途切れないようにしている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

進路選択に係る個別支援は、「チューター教員」及び「学生支援センターキャリア支援部門」により行っている。学生支援センターでは、相談日を設け、キャリア支援部門職員が進路相談に対応している。就職活動の際の「履歴書・小論文添削、面接練習」等については、チューター教員及びキャリア支援部門教職員が、学生の希望や状況に応じ、個別にサポートしている。

大学内の進路支援組織である「学生委員会」では、キャリア支援講座を企画運営し、各学年に段階的に実施している。昨年度は、「進路ガイダンス、自己分析講座、病院の選び方講座、履歴書講座」等をオンラインで開催し、進路選択の一助とした。また、「オンライン病院説明会（先輩看護師の講話）」や「先輩学生とのオンライン交流会」等を実施し、身近なキャリアモデルと触れ、自身のキャリアプランを考える機会としている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

学生一人ひとりに、チューター教員が配置され、個別のサポートを行っている。チューター教員は定期的に面談を行い、学修・進路・心身の健康面等の個々の状況やニーズに応じた支援を行っている。

学生支援センター（学修支援、学生生活支援、キャリア支援、インクルーシブ教育支援）の各部門では、チューター教員や関係教職員と連携し、学生の心身の状態に合わせた支援を行っている。

心理的な支援の一つとして、毎週2回「学生相談室」を開室し、非常勤のカウンセラー（公認心理師、臨床心理士）及びソーシャルワーカー（看護師・思春期相談員）により、心身の健康や対人関係などの相談対応を行っている。

ハラスメント相談窓口を設け、安心して相談できる体制を整備している。